



平成28年8月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年4月8日

上場会社名 株式会社トランザクション
コード番号 7818 URL <http://www.trans-action.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石川 諭
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 北山 善也

TEL 03-6861-5577

四半期報告書提出予定日 平成28年4月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年8月期第2四半期の連結業績(平成27年9月1日～平成28年2月29日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|-------------|-------|-----|------|------|------|------|------------------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 28年8月期第2四半期 | 5,677 | 8.7 | 471 | 52.7 | 472 | 57.7 | 318 | 72.7 |
| 27年8月期第2四半期 | 5,221 | 3.8 | 308 | 7.7 | 299 | 8.9 | 184 | 17.1 |

(注) 包括利益 28年8月期第2四半期 270百万円 (6.0%) 27年8月期第2四半期 255百万円 (44.6%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 28年8月期第2四半期 | 25.22 | 25.22 |
| 27年8月期第2四半期 | 14.70 | 14.62 |

(注) 当社は、平成27年8月1日付けで普通株式1株につき普通株式2株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | | 純資産 | | 自己資本比率 | |
|-------------|-------|---|-------|---|--------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 28年8月期第2四半期 | 5,429 | | 3,152 | | | 58.1 |
| 27年8月期 | 5,293 | | 2,984 | | | 56.4 |

(参考) 自己資本 28年8月期第2四半期 3,152百万円 27年8月期 2,984百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | | 合計 |
|------------|--------|--------|--------|------|-----|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 円 銭 | |
| 27年8月期 | — | 0.00 | — | 9.00 | 円 銭 | 9.00 |
| 28年8月期 | — | 0.00 | — | 9.00 | 円 銭 | 9.00 |
| 28年8月期(予想) | — | — | — | 9.00 | 円 銭 | 9.00 |

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2. 平成27年8月期期末配当金の内訳 普通配当 7円50銭 東証一部指定記念配当 1円50銭

3. 平成28年8月期の連結業績予想(平成27年9月1日～平成28年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|----|--------|-----|------|------|------|------|-----------------|------|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 10,801 | 5.4 | 606 | 13.2 | 600 | 14.1 | 400 | 76.9 | 31.68 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
 ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|---------------------|----------|--------------|----------|--------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 28年8月期2Q | 12,964,000 株 | 27年8月期 | 12,961,600 株 |
| ② 期末自己株式数 | 28年8月期2Q | 308,290 株 | 27年8月期 | 339,190 株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期累計) | 28年8月期2Q | 12,636,690 株 | 27年8月期2Q | 12,558,268 株 |

(注) 当社は、平成27年8月1日付けで普通株式1株につき普通株式2株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数(普通株式)を記載しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続きが実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
- 当社は、平成28年4月15日に機関投資家・アナリスト向けの決算説明会を開催する予定であり、当日使用する決算説明資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定であります。

○目 次

| | |
|------------------------------|----|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 4 |
| 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 | 4 |
| (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 | 4 |
| (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 | 4 |
| (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | 4 |
| 3. 四半期連結財務諸表 | 5 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 5 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 7 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | 9 |
| (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 10 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 10 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 10 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米国による政策金利引き上げや新興国経済の成長鈍化による世界的な金融市場の混乱の影響により、企業収益や雇用環境は緩やかな回復基調にあるものの、個人による消費活動は停滞感を払拭できない不透明な状況にあります。

このような環境のもと、当社グループは、「成長戦略・効率化戦略・経営基盤強化」を基本方針として掲げ、魅力ある新製品の開発や新規事業の拡大、製造原価の低減などに取り組んでまいりました。

販売面では、エンタテインメント業界やアミューズメント業界などの主力顧客へ営業活動を注力するとともに、食品・飲料業界を中心にトータルソリューション型営業を強化し、製品提供のみに留まらず、イベント・催事の開催やキャンペーン窓口対応といったセールスプロモーション全般における受注拡大に努めました。また、オリジナル製品ではエコバッグやタンブラー・ボトルなどの主力製品の販売に努め、トラベル雑貨製品につきましては、引き続き販路拡大を進めるとともに新製品発売に向けた準備を進めております。このほか、電子タバコ事業では、好調な店舗販売を強化するため平成28年1月29日に第二号店を東京都新宿区へ出店、モレスキン事業においては、オリジナリティの高い受注生産品の需要を獲得すべく、営業活動を強化いたしました。

生産面では、中国からその他のアジア諸国への生産地移動による製造原価の低減対象を、顧客の要望に応じたカスタムメイド雑貨製品に拡げ推進しております。トラベル雑貨製品については、当社グループ内でのシナジーを活かし仕入調達力の強化に努めました。さらに、フルカラー印刷(※)については、当年第1四半期において印刷設備を稼働させ内製化し、アニメやゲームなどのキャラクターを使用したサブカルチャー市場やインバウンド消費、アクティブシニア層をターゲットとした国内旅行の拡大による土産物市場の需要増加への対応を強化いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は56億77百万円(前年同期比4億55百万円、8.7%の増加)、営業利益は、前年第2四半期に実施したオリジナル製品の値上げの浸透及び前事業年度末に実施した製品ラインナップの再構築が奏功したことに加え、売上高の伸長により売上総利益を確保できたことなどから4億71百万円(前年同期比1億62百万円、52.7%の増加)となり、経常利益は4億72百万円(前年同期比1億72百万円、57.7%の増加)、親会社株主に帰属する四半期純利益は3億18百万円(前年同期比1億34百万円、72.7%の増加)となりました。
※バッグなどの縫製品や雑貨製品へダイレクトに印刷し、写真やキャラクターなどのグラデーションを伴う複雑なデザインの表現性に優れた印刷方法となります。

販売経路別の販売実績につきましては、電子タバコ事業の店舗販売・WEB販売、自社製品のWEB販売等、EC事業及び小売り事業の拡大に鑑み、当年第1四半期連結累計期間より販売経路別の分類を下記の通り変更しております。なお、製品分類別については変更ありません。

<販売経路別販売実績>

| 販売経路 | 売上高 | | 増減 | |
|---------------|---------------------------|---------------------------|--------------|------------|
| | 前第2四半期 連結累計期間 (百万円) | 当第2四半期 連結累計期間 (百万円) | 増減額 (百万円) | 増減率 (%) |
| エンドユーザー企業向け事業 | 2,827 | 2,949 | 122 | 4.3 |
| 卸売事業者向け事業 | 2,394 | 2,625 | 230 | 9.6 |
| EC事業及び小売り事業 | — | 103 | 103 | — |
| 合計 | 5,221 | 5,677 | 455 | 8.7 |

(注) 1 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2 EC事業及び小売り事業につきましては、当年第1四半期連結累計期間より分類を開始したため、前年同期対比の増減はございません。

<製品分類別販売実績>

| 製品分類 | 売上高 | | 増減 | |
|-----------------|---------------------------|---------------------------|--------------|------------|
| | 前第2四半期 連結累計期間 (百万円) | 当第2四半期 連結累計期間 (百万円) | 増減額 (百万円) | 増減率 (%) |
| 一般雑貨製品 | 2,635 | 2,852 | 217 | 8.3 |
| エコ雑貨製品 | 2,064 | 2,284 | 220 | 10.7 |
| ヘルスケア&ビューティ雑貨製品 | 446 | 466 | 19 | 4.5 |
| その他 | 75 | 73 | △1 | △2.6 |
| 合計 | 5,221 | 5,677 | 455 | 8.7 |

(注) 1 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2 一般雑貨製品には、前連結会計年度末に連結子会社とした、株式会社ゴーウェルによるトラベル雑貨製品の売上高1億69百万円が含まれております。

3 その他は、設計・デザインの受託業務、印刷業務等、雑貨製品に該当しないものになります。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(流動資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末に比べ1億21百万円増加し、47億17百万円となりました。主な要因は、製品の増加2億14百万円、受取手形及び売掛金の増加2億10百万円、現金及び預金の減少3億24百万円によるものであります。

(固定資産)

当第2四半期連結会計期間末における固定資産は、前連結会計年度末に比べ15百万円増加し、7億12百万円となりました。主な要因は、有形固定資産の増加11百万円、投資その他の資産の増加11百万円、無形固定資産の減少7百万円によるものであります。

(流動負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末に比べ77百万円減少し、15億68百万円となりました。主な要因は、短期借入金の減少2億50百万円、未払法人税等の増加72百万円、1年内返済予定の長期借入金の増加48百万円、買掛金の増加27百万円によるものであります。

(固定負債)

当第2四半期連結会計期間末における固定負債は、前連結会計年度末に比べ46百万円増加し、7億8百万円となりました。主な要因は、長期借入金の増加27百万円、退職給付に係る負債の増加17百万円によるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ1億67百万円増加し、31億52百万円となりました。主な要因は、利益剰余金の増加2億2百万円、従業員持株E S O P信託による自己株式の処分に伴う減少(純資産の増加項目)13百万円、繰延ヘッジ損益の減少26百万円、為替換算調整勘定の減少22百万円によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況の分析

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べて3億24百万円減少し、8億74百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、当第2四半期連結累計期間に得られた資金は6百万円（前年同期に得られた資金は33百万円）となりました。主な要因は、税金等調整前四半期純利益4億72百万円を計上したものの、たな卸資産の増加額2億15百万円、売上債権の増加額2億8百万円による資金の減少が生じたことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、当第2四半期連結累計期間に使用した資金は40百万円（前年同期に使用した資金は37百万円）となりました。主な要因は、保険積立金の積立48百万円、有形固定資産の取得26百万円、敷金及び保証金の差入20百万円による資金の減少及び保険積立金の解約による収入56百万円による資金の増加であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、当第2四半期連結累計期間に使用した資金は2億76百万円（前年同期に使用した資金は2億7百万円）となりました。主な要因は、短期借入金の減少額2億50百万円、長期借入金の返済による支出1億74百万円、配当金の支払額1億16百万円による資金の減少及び長期借入れ2億50百万円の新規調達による資金の増加であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年8月期第2四半期累計期間の業績予想につきましては、平成28年3月28日公表の「第2四半期連結累計期間の業績予想の修正に関するお知らせ」において、平成27年10月9日の公表数値を修正いたしました。

通期連結業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間の経営成績を受け、現在精査中であり、業績予想の修正が必要であると判断した場合には速やかに公表いたします。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成27年8月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成28年2月29日) |
|------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 1,198,314 | 874,231 |
| 受取手形及び売掛金 | 1,478,159 | 1,688,494 |
| 製品 | 1,553,329 | 1,767,562 |
| その他 | 374,738 | 395,108 |
| 貸倒引当金 | △8,788 | △8,380 |
| 流動資産合計 | 4,595,752 | 4,717,016 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 154,067 | 165,912 |
| 無形固定資産 | | |
| その他 | 81,917 | 74,209 |
| 無形固定資産合計 | 81,917 | 74,209 |
| 投資その他の資産 | | |
| その他 | 471,247 | 480,119 |
| 貸倒引当金 | △9,733 | △7,354 |
| 投資その他の資産合計 | 461,513 | 472,765 |
| 固定資産合計 | 697,498 | 712,887 |
| 資産合計 | 5,293,250 | 5,429,903 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成27年8月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成28年2月29日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 569,380 | 596,782 |
| 短期借入金 | 300,000 | 50,000 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 296,496 | 344,710 |
| 未払法人税等 | 88,414 | 161,301 |
| 賞与引当金 | 58,544 | 77,503 |
| 株主優待引当金 | 7,410 | 6,585 |
| その他 | 326,136 | 331,916 |
| 流動負債合計 | 1,646,383 | 1,568,798 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 407,714 | 434,975 |
| 退職給付に係る負債 | 201,944 | 219,202 |
| 資産除去債務 | 31,883 | 32,120 |
| その他 | 20,796 | 22,430 |
| 固定負債合計 | 662,338 | 708,728 |
| 負債合計 | 2,308,721 | 2,277,526 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 312,380 | 312,493 |
| 資本剰余金 | 538,592 | 538,705 |
| 利益剰余金 | 2,221,547 | 2,423,661 |
| 自己株式 | △150,608 | △136,862 |
| 株主資本合計 | 2,921,911 | 3,137,997 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| 繰延ヘッジ損益 | △9,157 | △35,231 |
| 為替換算調整勘定 | 78,652 | 56,080 |
| 退職給付に係る調整累計額 | △6,878 | △6,645 |
| その他の包括利益累計額合計 | 62,617 | 14,203 |
| 新株予約権 | — | 176 |
| 純資産合計 | 2,984,529 | 3,152,376 |
| 負債純資産合計 | 5,293,250 | 5,429,903 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成26年9月1日 至平成27年2月28日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成27年9月1日 至平成28年2月29日) |
|------------------|---|---|
| 売上高 | 5,221,594 | 5,677,444 |
| 売上原価 | 3,602,430 | 3,839,250 |
| 売上総利益 | 1,619,164 | 1,838,194 |
| 販売費及び一般管理費 | | |
| 給料及び手当 | 488,007 | 499,014 |
| 賞与引当金繰入額 | 45,611 | 65,789 |
| 退職給付費用 | 12,603 | 17,926 |
| 貸倒引当金繰入額 | 2,104 | 1,627 |
| 株主優待引当金繰入額 | 7,148 | 6,585 |
| その他 | 755,080 | 775,934 |
| 販売費及び一般管理費合計 | 1,310,556 | 1,366,877 |
| 営業利益 | 308,607 | 471,316 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 218 | 188 |
| 受取保証料 | 3,466 | 3,466 |
| その他 | 370 | 842 |
| 営業外収益合計 | 4,055 | 4,496 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 2,869 | 3,057 |
| 為替差損 | 9,064 | 218 |
| コミットメントフィー | 450 | — |
| その他 | 974 | 483 |
| 営業外費用合計 | 13,357 | 3,758 |
| 経常利益 | 299,304 | 472,054 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | — | 2 |
| 特別利益合計 | — | 2 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 0 | — |
| 特別損失合計 | 0 | — |
| 税金等調整前四半期純利益 | 299,304 | 472,056 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 118,093 | 156,022 |
| 法人税等調整額 | △3,339 | △2,722 |
| 法人税等合計 | 114,754 | 153,299 |
| 四半期純利益 | 184,550 | 318,757 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 184,550 | 318,757 |

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成26年9月1日 至平成27年2月28日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成27年9月1日 至平成28年2月29日) |
|-----------------|---|---|
| 四半期純利益 | 184,550 | 318,757 |
| その他の包括利益 | | |
| 繰延ヘッジ損益 | 31,809 | △26,074 |
| 為替換算調整勘定 | 39,070 | △22,572 |
| 退職給付に係る調整額 | △322 | 232 |
| その他の包括利益合計 | 70,557 | △48,414 |
| 四半期包括利益 | 255,108 | 270,343 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 255,108 | 270,343 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | — | — |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成26年9月1日 至平成27年2月28日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成27年9月1日 至平成28年2月29日) |
|-------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 299,304 | 472,056 |
| 減価償却費 | 25,214 | 25,442 |
| 貸倒引当金の増減額(△は減少) | 1,036 | △2,787 |
| 賞与引当金の増減額(△は減少) | △832 | 19,009 |
| 退職給付に係る負債の増減額(△は減少) | 10,823 | 17,605 |
| 株主優待引当金の増減額(△は減少) | 1,036 | △825 |
| 受取利息及び受取配当金 | △218 | △188 |
| 支払利息 | 2,869 | 3,057 |
| 固定資産除売却損益(△は益) | 0 | △2 |
| 売上債権の増減額(△は増加) | △121,335 | △208,226 |
| たな卸資産の増減額(△は増加) | △70,820 | △215,521 |
| 仕入債務の増減額(△は減少) | 12,577 | 28,406 |
| 前渡金の増減額(△は増加) | △26,818 | △6,495 |
| その他 | 4,099 | △55,313 |
| 小計 | 136,937 | 76,218 |
| 利息及び配当金の受取額 | 218 | 188 |
| 利息の支払額 | △2,277 | △2,989 |
| 法人税等の還付額 | 27,613 | 45,837 |
| 法人税等の支払額 | △131,066 | △112,765 |
| 保険金の受取額 | 1,634 | — |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 33,059 | 6,489 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有形固定資産の取得による支出 | △8,345 | △26,554 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △850 | △4,032 |
| 敷金及び保証金の差入による支出 | △3,312 | △20,692 |
| 敷金及び保証金の回収による収入 | 1,118 | 557 |
| 保険積立金の積立による支出 | △25,887 | △48,999 |
| 保険積立金の解約による収入 | — | 56,689 |
| その他 | — | 2,154 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △37,277 | △40,877 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の増減額(△は減少) | — | △250,000 |
| 長期借入れによる収入 | 150,000 | 250,000 |
| 長期借入金の返済による支出 | △115,262 | △174,525 |
| 社債の償還による支出 | △100,000 | — |
| 株式の発行による収入 | 7,820 | 225 |
| 新株予約権の発行による収入 | — | 176 |
| 自己株式の取得による支出 | △80,585 | — |
| 自己株式の売却による収入 | 13,611 | 13,746 |
| 配当金の支払額 | △83,285 | △116,068 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △207,700 | △276,445 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 26,210 | △13,248 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | △185,707 | △324,083 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 1,321,884 | 1,198,314 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 1,136,177 | 874,231 |

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。